

ティモ ハロネン

Vodafone M2Mジャパンカンントリーマネージャー



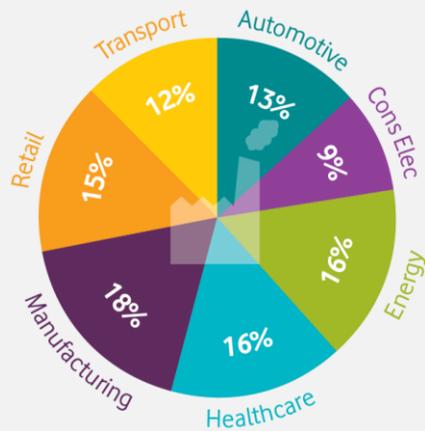
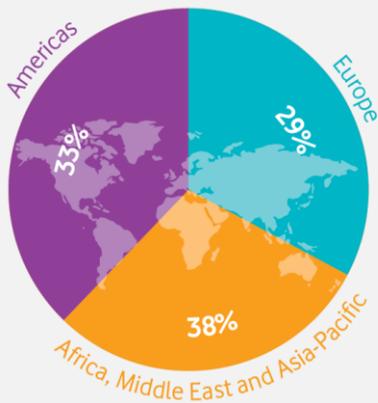
Vodafone M2M Japan アップデート

- 日本オフィス設立: 2009年
- 事業内容: 日本企業のグローバルレベルでのM2Mの導入・展開をサポート
- 主な業界: 製造、自動車、家電、ヘルスケア
- トレンド: この1年間でM2Mに関する関心が急速に高まり、M2Mを具体的に導入検討する企業が増加。
- 主要なマーケティング活動
 - 2月 Vodafone M2M Global Forum (自社主催)
 - 5月 ワイヤレスM2M エクスポ (リードエグジビジョン主催)
 - 10月 IOT/M2Mコンファレンス (リックテレコム主催)



M2M普及状況調査レポートについて

地域および業界別
回答の企業内訳



- 独立機関による調査
- 2年連続の調査
- アナリストが結果を考察

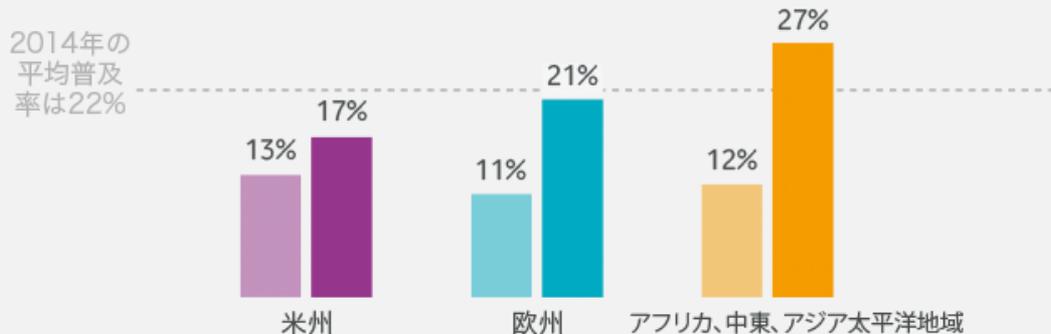
- グローバル規模の調査：対象600社以上（内200社以上はアジア大洋州地域）
- 14ヶ国：内アジア大洋州は5カ国- 日本、オーストラリア、中国、韓国、インド
- 7業界：自動車、家電、エネルギー、ヘルスケア、製造、小売、運輸



AMEAPが成長をリード

(AMEAP: アフリカ、中東およびアジア大洋州地域)

地域別
M2M ソリューション
導入企業
(2013年/2014年)

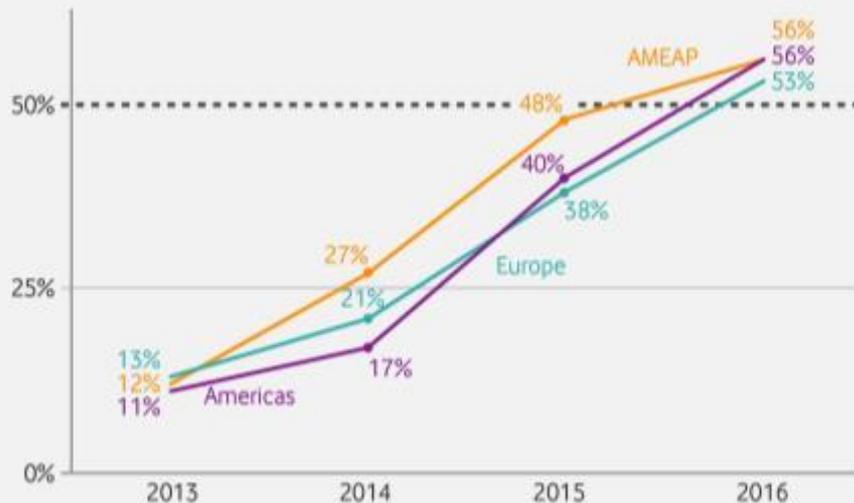


- アフリカ、中東およびアジア大洋州地域での普及が加速
- 2016年までにはすべての地域にて導入率が**50%**を超える見通し



AMEAPで普及率が加速化

M2M導入予定
の企業

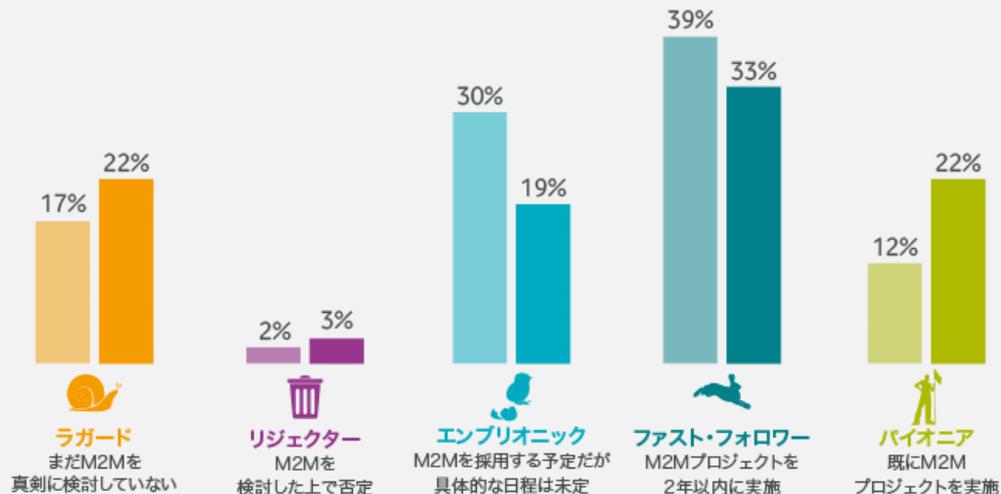


- 2015年までにAMEAP の48% の企業がM2Mを導入予定
- 2016年までには同地域の55%の企業がM2Mを導入し、地域間の普及格差は小さくなる見通し



主流に躍り出るM2M

導入ステージ別
企業の割合
(2013年/2014年)

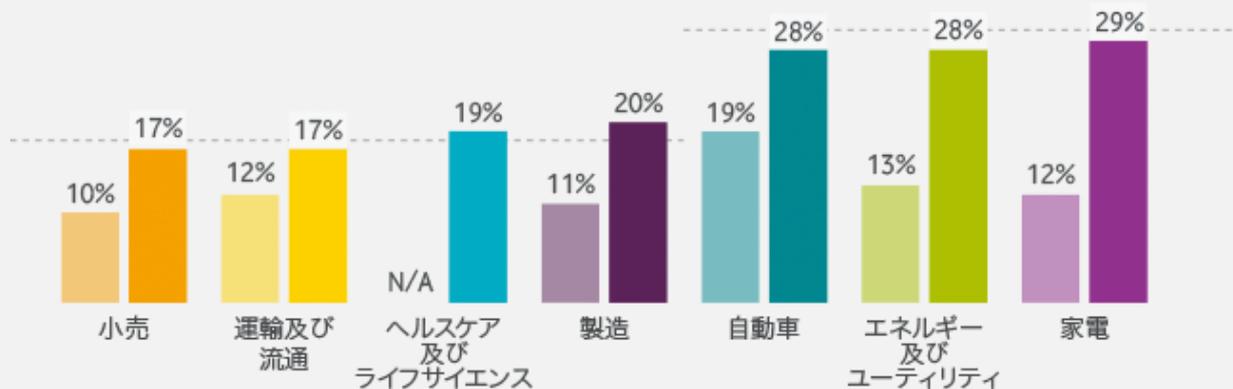


の企業が M2M が既に導入していると回答
- これは昨年対比で 80% 以上の増加



業界別では、家電、自動車およびユーティリティが成長をリード

業界別
M2M ソリューション
導入企業
(2013年/2014年)



- 多くの業界で成長が認められ、突出している業界も見られる
- 現時点では、業界の状況は大きく二分されている
- アジア大洋州地域ではユーティリティー、家電、製造、自動車業界が導入をリード



中小規模企業が追い上げ

企業規模別
M2Mソリューション
導入企業
(2013年/2014年)

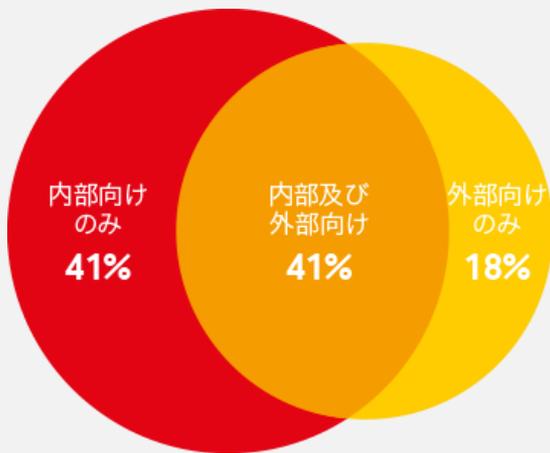


- 現在の導入状況は、大企業が依然としてリード
- しかし、中小規模企業が追い上げ、2015年にはほぼ同程度に普及率に

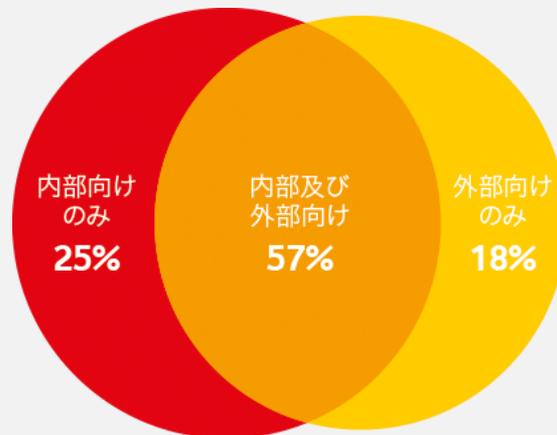


“外部指向”に変貌しつつあるM2M

現在の
内部指向、
外部指向
M2M 戦略の比較



今後3年間の
内部指向
外部指向
M2M 戦略の比較



- 現在、41% の企業が純粋に内部指向の戦略だけを持っている

- 今後3年間で、この数値は25%にまでに低下



3つの共通テーマ



アセット
トラッキング



フリート
管理



人の
モニタリング

それぞれの業界に適したアプリケーションが求められているが、
いずれも3つの大きなテーマに落とし込むことができる



M2Mは高いROIを提供することができる

M2M導入済み企業の89%が、
2年以内にROIを確保し、98%が
なんらかの利益を既に得たと回答



セキュリティは最終的な課題であり、普及阻害要因ではない

M2Mを利用する上でセキュリティが普及阻害要因とする企業の割合



- 72% の企業が、セキュリティに懸念を抱いていると回答
- 一方で、セキュリティは解決すべき課題の1つに過ぎないとし、最大の懸案事項であるとする企業は、わずか 12% に過ぎない



成功に導く 4つのステップ

1

M2M を戦略の中心にして、大きなビジョンを描く

2

幅広い支持を集め、企業文化を変える
ことに注力する

3

ビッグ・データなど、M2M を他のテクノロジーと
融合させる

4

セキュリティについては、計画段階から隅々まで
検討を行う

